

～せと市民総ぐるみ防災訓練～
令和８年度瀬戸市総合防災訓練の各連区訓練基本方針

令和８年度瀬戸市総合防災訓練では、次に示す訓練とその内容に留意し、各連区で地域の実情に応じた訓練の企画検討をしてください。

- 1 開催日
令和８年１１月１５日（日）午前８時から
- 2 訓練想定
南海トラフ地震（震度６弱観測）の発生を想定した訓練を行います。
- 3 訓練当日の全体イメージ

瀬戸市総合防災訓練			
想定する 訓練フェーズ	おうち防災訓練 （各家庭等）	地域防災訓練 （小中学校の体育館等）	災害対策本部運営訓練 （市役所庁舎及び各施設）
地震発生直後	シェイクアウト訓練（午前８時開始）		
	安否確認訓練		職員安否確認・参集訓練
		無線交信・情報伝達訓練（午前１０時までを目途）	
	各連区における訓練 （避難所の開設・運営、炊き出し、初期消火訓練、トイレ対策訓練、応急救護訓練、避難行動要支援者等の避難行動支援、ペット避難、外国人避難者への対応、等）		災害対策本部運営訓練 （図上訓練）
応急期			

- 4 各家庭での取組
「おうち防災訓練」として、南海トラフ地震の発生に備え、各家庭で以下の項目を実施してください。
 - (1) シェイクアウト訓練
 - (2) 二次災害の防止
 - (3) 安否札の掲出
 - (4) 非常持出袋と備蓄品の確認

- (5) ハザードマップの確認 (6) 避難先の検討
- (7) 各連区の訓練への参加

5 各連区での取組

(1) 安否確認訓練及び無線交信・情報伝達訓練

おうち防災訓練で掲出した安否札を活用し安否確認及び集計を行い、防災行政無線（MCA無線）を用いて、災害対策本部に集計結果を報告してください。

ア 一時集合場所（組集合場所）

安否札を活用し、組内の安否状況を確認し集計する（※1）（安否札未掲出世帯に「声掛け安否確認（※2）」を行う）。

組単位の集計結果を各町内会単位でとりまとめ（※1）、避難所へ移動する。

イ 避難所（各連区の訓練実施場所）

町内会単位の集計結果を各自治会でとりまとめ（※1）、午前10時を目途に（※3）防災行政無線（MCA無線）で災害対策本部（無線番号108～110のいずれか）へ報告する。

ウ その他

後日、集計結果を訓練振り返りのアンケート（※4）に転記し、防災安全課へ提出する（Fax、メール等）。

※1 安否確認訓練集計用紙（様式1：組長用、様式2：町内会長用、様式3：自治会長用）等を活用してください。任意の様式で構いません。

また、上記様式は瀬戸市HPで公開予定です。

※2 対象者は町内会加入者のみとし、インターホンを1回鳴らす、又は、玄関先で声をかけるなどにより実施してください。訓練予定時間内でできる範囲での実施で構いません。

また、未掲出世帯への「声掛け安否確認」の実施については、広報せと等で周知しますが、各自治会でも住民へ事前周知していただくようお願いします。

※3 時間はあくまで目安ですので、集計が終わり次第ご報告ください。

※4 11月の定例会で配布する予定です。

※例年からの変更点

今年度は自治会加入世帯のうち、安否確認できなかった世帯数を報告していただきます。

実災害時には自治会未加入者の安否確認及び救出等も行う必要があることを

(2) その他各連区における地域の実情に応じて取り組む訓練

以下の例に示すような訓練を各連区で企画し、実施してください。

<例>

ア 避難所開設・運営訓練

イ 炊き出し訓練

ウ 初期消火訓練

エ トイレ対策訓練

オ 応急救護訓練（AED、倒壊家屋からの救出等）

カ 避難行動要支援者等の避難行動支援訓練

キ ペット避難訓練

※ 別紙「参考資料一覧」内の資料を参考としてください。

ク 外国人避難者への対応

※ 別紙「参考資料一覧」内の資料を参考としてください。

ケ その他

6 消耗品の支給や防災資機材の貸し出しについて

携帯トイレ、発電機のガスボンベ、アルファ化米、水、訓練用の簡易給水槽等の消耗品を訓練で使用する場合、事前に防災安全課にご相談ください。防災備蓄倉庫内に備蓄されている各消耗品は、災害時用のため使用しないでください。

また、倉庫に保管されていない防災資機材の使用を希望される場合も、防災安全課にご相談ください。（例：AED、水消火器等）

なお、倉庫内の資機材を使用した場合は、元の場所に戻してください。

※ 別紙「令和7年度配備資機材紹介」をご参照ください。

7 各連区の訓練に向けた支援体制

(1) 訓練の企画

防災安全課職員、消防職員（地域防災担当）が各連区の訓練の企画等を支援します。

(2) 連区事前打合せ

地域防災支援員、防災安全課職員、消防職員（地域防災担当）が事前の打ち合わせに参加します。事前打合せの際に各連区の訓練計画書等をご用意ください。

事前打合せの日程調整については、9月自治定例会でご案内予定です。

(3) 訓練当日

地域防災支援員が各連区の訓練に参加します。

(4) 研修体制（せと市民防災塾）

災害時に地域で活動できる防災リーダーの育成及び市民の防災意識向上を目的とし、地域の防災関係者、自治会関係者、地域防災支援員、市民を対象とした防災研修を行います。

ア 日時

令和8年7月4日（土）午前9時00分から午後0時30分まで

イ 場所

瀬戸市文化センター 文化交流館

ウ テーマ

避難所及び在宅における避難生活について

エ 講師

愛知県被災者支援センター語り部 鈴木 ユカリ氏

(5) その他

昨年同様、外国人向けのチラシを作成予定です。チラシができ次第、必要部数を確認した上で各自治会に配布します。

※ 「参考資料一覧」をご参照ください。

8 訓練報告検証会

令和8年度瀬戸市総合防災訓練における各連区の取り組みのうち、先進的な取り組み等の事例や課題を、連区間で共有することを目的として開催します。

(1) 日時

令和8年12月19日（土）午前10時から（1時間程度を予定）

(2) 場所

瀬戸市文化センター 文化交流館 31会議室

9 その他

訓練開始の合図は「瀬戸市安全安心情報メール」、「瀬戸市安全安心情報メール forLINE」、「RADIO SANQ(FM84.5MHz)」、「グリーンシティケーブルテレビ」にて一斉配信又は放送されます。つきましては、事前に瀬戸市安全安心情報メール等に登録を行ってください。



安全安心情報メール



安全安心情報メール forLINE